

令和 8（2026）年度 MUSCAT で履修登録できない科目について

1. 履修登録の申請方法について

通常、履修登録は「MUSCAT」で行いますが、特定の科目や条件に該当する場合、MUSCAT で登録できないため専用フォームから申請が必要となります。以下のとおり手続きを行ってください。

- 申請期間：各履修（訂正）登録期間内（各期間は履修要覧を確認してください）
- 申請方法：以下のフォームから申請してください。

【申請フォーム】 <https://forms.gle/Ak3HeUMMcg7Qi4dx7>

※ 武蔵野大学の Gmail アカウントからログインしてください。

2. 対象科目について

≪学部科目≫

No.	区分	対象科目
1	再履修	卒業留年生が、単位修得済の科目を再履修する場合
2		社会福祉学科の学生が、実習履修要件または実習履修要項に定める科目を評価改善のために再履修する場合
3		グローバルビジネス学科の学生が「基礎日本語1A-1H」を再履修する場合
4		2024年度以前に入学した日本語コミュニケーション学科の学生が「日本語教授法概論A-D」を再履修する場合 ※日本語教員養成課程を希望する学生で当該科目がC評価の場合のみ
5		第二外国語として以下の科目の内、いずれか一方のみを再履修する場合 ・2020年度以前入学生は、「外国語1A」または「外国語1B」 ・2021年度以降入学生は、「外国語基礎1」または「外国語基礎2」
6		グローバル学部以外の留学生または日本語を母語としない学生が以下の科目の内、いずれか一方のみを再履修する場合 ・日本語発展Aまたは日本語発展B ・日本語発展Cまたは日本語発展D
7		全員留学に行くグローバルコミュニケーション学科の学生がクラス指定のないINITIAL必修科目を再履修する場合（後期に開講される講義のみ）
8		全員留学に行くグローバルコミュニケーション学科が事前に履修登録されているINITIAL必修科目の再履修を今年度希望しない場合（削除の申請）
9		副専攻(AI活用エキスパートコース)の履修が許可された学生の内、以下のいずれかに該当する場合 ・「機械学習活用1」と「機械学習活用2」のどちらか一方を再履修する場合。 ・「データサイエンス活用1」と「データサイエンス活用2」のどちらか一方を再履修する場合
10		必修科目の再履修科目など、新MUSCATから削除できない科目を削除する場合
11	BASIS科目	2020年度以前に入学した建築デザイン学科の学生が、「発展セルフディベロップメント科目群」の科目を履修する場合（事前にアドバイザーの許可が必要）
12		2020年度以前に入学した薬学部および看護学部の学生が、薬学部及び看護学部以外の学部・学科で開講されている「発展セルフディベロップメント科目群」の科目を履修する場合
13		第二外国語として以下の履修を希望する場合 ・2020年度以前入学生 →「外国語1A」を修得済で、「外国語1B」の履修を希望する学生 →「外国語1B」を修得済で、「外国語1A」の履修を希望する学生
14		2020年度以前に入学した薬学部の学生が、第二外国語として以下の履修を希望する場合 ・中国語 3 A ・フランス語 3 A

15		2016年度入学の薬学科の学生が武蔵野BASIS科目の履修を希望する場合
16	INITIAL科目	第二外国語として以下の履修を希望する場合 ・2021年度以降入学生 →「外国語基礎1」を修得済で、「外国語基礎2」の履修を希望する学生 →「外国語基礎2」を修得済で、「外国語基礎1」の履修を希望する学生
17		全員留学に行くグローバルコミュニケーション学科の学生の内、副専攻（AI活用エキスパートコース）の科目を履修する場合
18		SDGs基礎[再履修クラス]に履修登録されている学生の内、学科必修科目や資格課程との時間割重複により、他のクラスに変更を希望する場合
19		ウェルビーイング学部の2年次編入生が、1学期訂正登録期間以降に以下の履修を希望する場合 ・【対象科目】アカデミック・ライティング/英語基礎C/SDGs発展1/ SDGs発展2/ SDGs発展3
20	BASIS科目 /INITIAL科目	第二外国語の発展科目および総合科目において、履修条件を満たしていないが特別に教員から履修を許可された場合
21	共通	留学生以外の、日本語を母語としない学生が日本語・日本事情科目の履修を希望する場合
22	教職 科目	1学期訂正登録期間以降に後期科目等の履修を希望する場合（履修登録のスケジュールに基づく） ※ただし、教職課程費の納入を確認できた学生に限る
23	司書 司書教諭 科目	1学期訂正登録期間以降に後期科目等の履修を希望する場合（履修登録のスケジュールに基づく） ※ただし、資格課程費の納入を確認できた学生に限る
24	学科 科目	グローバルコミュニケーション学科の日本語履修者で「中国研究(文化文学)初級A-B」「中国研究(文化文学)中級A-D」の履修を希望する場合 ※履修には欒先生の許可が必要です ※「中国研究(文化文学)中級A-D」は後期の履修登録期間のみ申請可能
25		2021年度以前入学生が他学部・他学科履修許可科目の履修を希望する場合
26		政治学科科目「地方政府研究1-2」の内、どちらかの科目をすでに修得しており、もう一方の科目を履修する場合
27		建築デザイン学科の学生が、他学部・他学科履修許可科目を履修する場合 （事前にアドバイザーの許可が必要）
28		人間科学科科目「社会福祉の原理と政策Ⅰ・Ⅱ」の内、どちらかの科目をすでに修得しており、もう一方の科目を履修する場合
29		2016年度入学の薬学科の学生が学科選択科目の履修を希望する場合
30		教育学科科目「書道科指導法B」（後期）、「書道科教育法」（3学期）を前期履修登録期間以外で履修登録する場合（基本的には、前期履修登録期間中に履修登録をすること）
31	オンライ ン科目	「60単位を超えるオンライン授業科目」の履修を希望する場合
32	受付終了 科目	「受付終了科目」をMUSCAT上で削除したが、再度追加する場合 ※削除した履修登録期間内に限り追加可能
33	その他	「履修登録申請書で追加した科目」を削除する場合（一部削除できる科目あり） 「履修登録申請書で追加した科目」を誤って削除したが、再度追加する場合

※ 上記記載以外の科目で削除・追加できない場合は、学務課・武蔵野学務課にご相談ください。

※ 黄色で塗りつぶされた対象科目は、令和8年9月以降の新システムでの履修登録に伴い追加された科目です。

<大学院科目>

No.	対象科目
1	大学院生が「学部の科目」を履修する場合 ※履修可否について研究科への確認が必要となるため、事前に学務課・武蔵野学務課に要相談
2	博士後期課程の学生が「所属研究科の修士課程の開講科目」を履修する場合 ※指導教員の許可が必須
3	学部・修士課程 5年一貫プログラムの修士1年生が修士2年の科目を履修するとき 対象研究科 ・経営学研究科会計学専攻 ・社会研究科人間学専攻人間行動学コース ・工学研究科建築デザイン専攻 / 数理工学専攻 ・データサイエンス研究科データサイエンス専攻 ・法学研究科ビジネス法務専攻

3. 対象者について

≪学部生≫

No.	対象者
1	2017年度以前に入学した学生（薬学部以外の学部生）
2	国際データサイエンス学部データサイエンス学科の3・4年次編入生（入学年度のみ） ※専用の履修登録申請書で提出する必要があります。
3	ウェルビーイング学部の2年次編入生（入学年度のみ。前期履修登録期間（4/7,8,11）は全科目において窓口登録の対象。1学期訂正登録期間以降は原則MUSCATから追加・削除） ※初回のみ専用の履修登録申請書で提出する必要があります。対象者には別途MUSCATで掲示します。

※ 上記内容に変更・追加が生じる場合は、随時 MUSCAT にてお知らせします。